

解 答 例

問一

生徒たちから出ていた意見があまりに現実離れしていた

問二

父親はおにぎりをせがむ娘に、もはや一つもおにぎりをあげることができずかわいそうに思ったから。(四六字)

問三

読解力とは普通、漢字をどれだけ知っているか、語彙をどれだけ知っているか、文法について正確な知識があるか、といった基本的な言語の能力や、文と文との内容的関係を理解できるかといった論理的思考能力のことであって、国語教育においてもこの点が強調されています。しかし、『ごんぎつね』や『一つの花』に対する子供たちの誤読からみるとおり、文章を理解するために必要な能力は、それ以前の常識人としての想像力であることがわかります。具体的にはたとえば、人の気持ちや想像できる力であるとか、物事の背景について想像ができる力であるとかいったものが文章の読解には必要なのです。そしてそうした力は国語の教室だけではなく、家庭生活や友達との交流を含めた基本的な生活から身につけなければならないもので、そうした力が衰えているということとは、国語の力はそこから改善していかなければならないということの意味しています。(三九三字)